

# 令和3年度 運動方針

ポストコロナの未来を切り拓く。  
～総選挙に勝利し、誰もが活躍できる県づくり～

組織広報委員長 西内 隆純

新型コロナウイルス感染症により国難といえる深刻な状況が続いている中、救命や感染拡大抑止にご尽力いただいている医療・介護従事者をはじめ、県民および事業者各位の新型コロナ対策への協力に深く敬意を表し、感謝申し上げます。

誰もが安心して活躍できる県づくりを行うため、以下の取り組みを実施する。

## ○新型コロナウイルスから県民の命と健康、暮らしと雇用を守る

### ① 県民の命と健康を守る収束に向けた取り組み

必要な方に必要な医療をしっかりと提供できる体制を整える。また、スムーズなワクチン接種をはじめ、感染拡大抑止に向けた取り組みを一層充実させる。

### ② 暮らしと雇用を守る取り組み

新型コロナウイルス感染症により停滞する経済の持ち直しを図るため、経済波及効果の広い需要喚起策を適切なタイミングで打ち出す。

また、資金繰り支援等によって事業者を支え、経済と雇用を守る。

加えて、収入の減少や失業などにより支援を必要とする方々に対して、引き続き経済支援策を講じていく。

## ○ポストコロナを切り拓き、経済の好循環を生み出す

### ① デジタル化の推進

申請手続きの簡素化、行政のデジタル化の促進によって、自治体の業務の効率化と県民の利便性向上を図る。

リモートワークの推進や様々な分野への ICT 技術の導入により、業務の効率化、働き方改革を推し進める。加えて、仕事の時間や地理の制約からの解放により、社会で働くことを希望する女性や高齢者、障がい者の活躍の機会を増やす。

## ② 経済の好循環の実現

ポストコロナを見据えて、新分野展開や業態転換、事業・業種転換等の取組、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等を目指す企業・団体等の新たな挑戦を支援する。

また、地球温暖化防止に向けて、企業・団体等の 2050 年カーボンニュートラルとグリーン化の取組み支援し、「経済と環境の好循環」を実現する。

## ○レジリエンスの確保

### ① 安全安心のまちづくり

頻発する豪雨災害、南海トラフ地震を見据えたハード・ソフト対策のため、安定的かつ充実した予算を確保する。

## ○新たな時代へ

### ① 少子化対策

全世代型社会保障制度の充実を通して、安心して結婚し、子供を産み育てることのできる環境を整える。

### ② 教育の充実

教育力の向上のため、養成・採用・研修、教員免許制度の在り方を見直し、多様な人材活用、教職課程の高度化を推進し、教員の資質向上を図る。

子ども一人ひとりに寄り添うとともに、地域や家庭と一体となって教育に取り組むことのできる環境を醸成する。

教員が、社会から尊敬され、若者が憧れる職業となるよう尽力する。

## ○憲法改正

新型コロナウイルス感染症により改めて必要性が確認された緊急事態条項、不安定化する安全保障環境に対処する上で必要な自衛隊条項、地方の声をしっかりと国政に届けるための合区解消等を念頭に、県民の幅広い理解を得て憲法改正を実現する。

## ○総選挙の勝利

これらの政策群が着実かつ安定的に実行されるためには、盤石な政治的基盤が不可欠である。そのため、本年行われる各級の選挙での公認・推薦候補者の勝利はもちろんのこと、目前の衆議院選挙において、選挙区は1区『中谷元』、2区『尾崎正直』の当選を確実なものとしなければならない。

ついでには、党員一人ひとりが以上のことを理解し、力を合わせて党活動に邁進し、党人としての責任を果たすこととする。